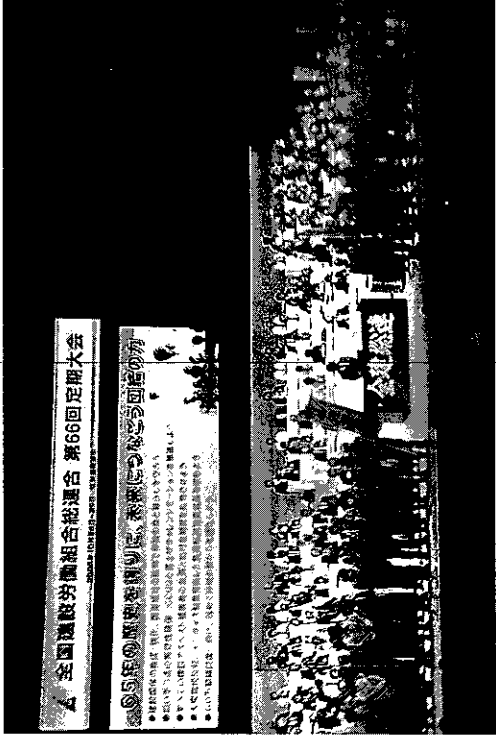


全建総連

第66回定期大会開催される



全建総連定期大会が令和7年10月28日、29日に佐賀県佐賀市「佐賀市文化会館」で開催され、52県連・組合から1,265人が参加し、活発な討議がなされました。

初日は議長等大会役員選任、物故者への黙祷の後、佐賀県副知事等からの来賓挨拶と各政党代表からの挨拶の後、第65期の経過報告・決算報告がなされ、続いて第66期の運動方針・予算案が執行部より提案されました。

第66期の運動方針案として、①迅速かつ着実な運動の推進、②賃金・単価の引き上げ、法定福利費確保、社保加入促進、③建設キャリアアップシステムの利用拡大、④国保組合

匠だより

富山県建築組合連合会だより

No.225
令和7年
12月24日

発行所 富山県建築組合連合会
事務局 富山市西荒屋25-4
☎076-428-8255

発行責任者 杉原 賢磁
編集責任者 広報委員会



この後、鈴木中央執行委員長より60名が大会表彰され、本県からは木屋英樹氏(福光支部)が受賞しました。

大会の最後にあたり、参加者全員による団結ガンバロウを三唱して2日間の大会を終了しました。

2日目の午後は前日に続き運動方針案、予算案への質疑応答の後、両案とも拍手で承認さ、大会スローガンとして「65年の歴史を誇りに、未来につなごう団結の力」が採択されました。

2日目の午前は、社会保障対策、労働対策、賃金対策、税金対策、住宅対策、技術対策、組織、教育、財政と今回新たに設置されたCCUS関連に分かれて分科会が開催され、本県からの参加者は技術対策と社会保障対策の部会に参加しました。本県の松原副会長からの、建築士だけではなく大工の観点からの応急危険度判定士としてのアドバイスの重要性についての発言とそれに対する質疑応答など、分科会ごとに活発な討議を行い、いずれの分科会でも執行部提出の方針案が承認されました。

技能士会研修会が開催～興福寺五重塔見学～



興福寺は710年(和銅3年)に平城京への遷都に伴い創建されました。その後730年(天平2年)に五重塔が建立され、現在の五重塔は1426年(室町時代)に5度目の再建を果たした塔です。京都の東寺の五重塔に次いで、日本で2番目の高い塔です。

令和7年11月27、28日の両日に富山県建築大工技能士会の研修会が、奈良県において行われました。初日は興福寺を訪れ、奈良県文化財保存事務所の方の案内で、保存修理工事中の素屋根内部で見学が行われました。素屋根内部の階段を使い一層目から五層目まで順に見学することが出来ました。圧巻であったのが五層目です。軒先の垂木にさわれる程の距離まで近づき、600年の風雪を耐えてきた木材を目の当たりにできたことです。参加者の皆様も、またとない経験に興奮を隠しきれない様子でした。保存事務所の方の説明もわかりやすく、参加者の質問にも丁寧に答えて頂きました。

二日目は、世界最古の木造建築物である法隆寺の見学、さらに730年の創建時から現存する東塔を、間近見ることの出来る薬師寺などを見学しました。

今回の研修会は天候にも恵まれたこともあり、両寺院の伽藍の巨大さだけでなく参加者の熱心さも相まって、予定時刻を大きくオーバーして帰路につきました。

(富山県建築大工技能士会 会長 平井 健司)

受賞おめでとうございます

射水市技能勤労者表彰

関原 光男氏 (新湊支部)

富山市技能勤労者表彰

村田 博司氏 (大沢野支部)

中央職業能力開発協会会長表彰

高島 博志氏 (魚津支部)

伝統的技術者表彰

裨苗 良二氏 (富山支部)

すぐれた技能者表彰

吉本 雅己氏 (八尾支部)

富山県建築文化賞建築功労賞

北 孝志氏 (氷見支部)

全建総連第66回定期大会表彰

木屋 英樹氏 (福光支部)

旭日双光章

今村 彰宏氏 (富山支部)

令和7年を振り返って



富山県建築組合連合会会長 杉原 賢磁

令和7年も残すところ、あとわずかとなりました。今年1年、皆様つつがなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和7年は、いろいろありあつという年の1年でした。今期県連会長となり、県連代表として全建総連中央執行委員集会へ参加。その中の技術対策部会で、山口市で青年技能競技会、今回富山県から3名が参加して、1名が奨励賞を受賞、残念ながら入賞なりませんでしたが、役員として運営にかかわり、内容がわかってきたので、次回傾向と対策を練り、ぜひ参加者と上位入賞を狙いたいです。

当県連では、3月県住宅課による「建築基準法改正による改修工事について」説明会、4月YKKAPによる「省エネ法改正にともなう対応について」講演会、6月松原副会長による「木造住宅低コスト耐震補強」講習会、7月松尾和也さん講師「これからの住宅を考える2025」セミナーなど、組合員皆さんに知ってもらいたい事たくさんあり、今後折をみて機会をもちたいと思います。

今年も円安を始めとして、木材や資材等の価格上昇が続いており建築業界を取り巻く環境は厳しいです。県連では近年ずっと緩やかですが、組合員減少に歯止めがかからず、新規組合員(特に若い人)の加入促進、協定基準賃金値上げに伴う実質賃金の値上げ、CCUS(建設キャリアアップシステム)のさらなる周知及び習得促進、建築基準法4号特例廃止による確認申請及び現場対応、これらをはじめとして諸課題を解消して、皆さんが加入して良かったと思える連合会にしていきたいと考えています。

皆様のご協力よりしく願いたします。

建築組合
北信越交流集会を開催
組織減少に危機感、
拡大戦略へ連携確認



北信越地協は、9月27日～28日の2日間にわたって、福井県にて北信越交流集会を19名の参加のもとで開催しました。組合員の減少傾向に歯止めをかけ、組織をいかに拡大していくかについて、地域を超えた活発な意見交換が行われました。

集会では、特に若手育成と地域への広報強化が組織拡大の鍵として議論されました。参加者は、具体的な成功事例や課題を共有し、北信越全体で協力体制を強化していく方針を確認しました。

交流を深める懇親会では、真剣な議論を終えた職人たちが和やかに親睦を深めました。集会2日目には、全員で蕎麦打ち体験を実施。普段は道具を扱う職人たちも、慣れない作業に集中力を発揮し、技術職の視点から体験を楽しむ時間となりました。

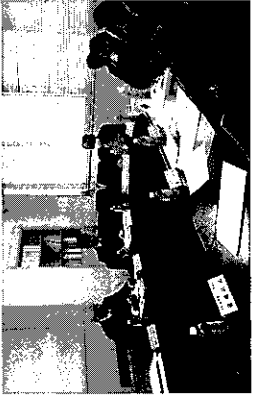
組合は、今回の集会で確認した組織拡大への決意を胸に、地域建築業界の未来を支える活動を強化していくとしています。

（松原由華人）



地協高松支部

この後、富山労働局から今年の労災発生状況や労働安全衛生法などの法律改正の概要について、防災からは令和8年度の技能講習・教育と木建工事労災死亡事故の最も多い要因である墜落・転落災害への対応策、また一人



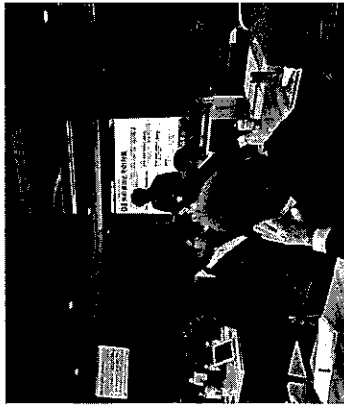
●令和7年度安全パトロール実施件数（単位:件）

区分	大造建築物安全パトロール				一人親方安全パトロール			
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
新川	14	14	12	18				
富山	19	20	8	10				
高岡	20	23	10	8				
両砺波	11	14	11	14				
合計	64	71	41	50				

●建設業労災派生状況(令和7年11月時点)

区分	富山		高岡		魚津		砺波		合計	
	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年
土木工事業	1	9	15	14	8	1	8	2	39	2
	死亡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建築工事業	1	32	28	27	12	15	9	1	2	70
	死亡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
木造家屋建築工事業	1	9	4	17	4	5	1	1	20	1
	死亡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他	7	10	1	9	5	6	5	2	25	1
	死亡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業計	2	48	53	4	25	29	23	25	6	134
	死亡	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※富山労働局令和7年11月業種別署別労働災害発生状況(速報値)より抜粋



会議初日（9日）の前半には、組織強化に向けた全体学習が集中的に行われました。

全体学習：「青年部情勢」組織拡大の必要性

全建総連 組織部長の竹谷英幸氏が講師を務めた「青年部

第29回全国青協幹部会議、名古屋で開催！

11月9日・10日、第29回全国青年部協議会幹部会議をリファレンス名古屋栄貸会議室ナディアパークで開催し、全国から37県連組合、114名の青年部幹部が集結しました。

この会議は、建設産業の未来を担う青年部の活動強化と、組織拡大に向けた具体的な手法を学ぶことを目的に行われました。

1日目：現状認識と実践スキルを徹底的に学ぶ！

後半の「訪問行動のロープレをやってみよう」では、全体学習で高まった意欲を具体的な行動に変えるための実践訓練が行われました。参加者は、未組織の仲間へのアプローチや、組合加入の呼びかけ方をロールプレイング形式で体感し、「現場で使える」即戦力となる対話スキルを熱心に磨きました。

2日目：拡大月間の動きを熱く議論

2日目（10日）は、参加者が少人数の班に分かれ、「春と秋の拡大月間における青年部の動き」をテーマに班別ディスカッションを実施しました。各地域における拡大月間の成功事例や課題、工夫点などが活発に共有され、それぞれの青年部が持つノウハウを学び合う貴重な時間となりました。参加者からは「他地域の取り組みは目から鱗だった」「情勢認識を共有でき、組織拡大への意欲がさらに高まった」といった声聞かれました。

会議を通じて、参加した青年部幹部は、組織強化への決意を新たにし、今後も各地域で仲間づくりと建設産業の改善に向けた活動を力強く推進していくことを確認しました。

（議長 松原由華人）

インタビュー
棟梁に聴く

コミュニケーションの大事さ



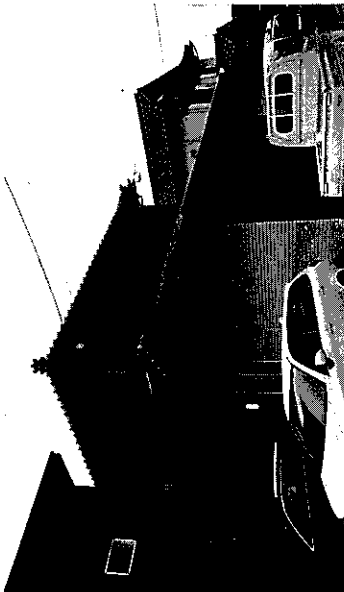
両砺波地協 小矢支部 山元 勇二さん

Q 大工になったきっかけを教えてください。

A 身近に大工はいなかったが、保育所に通っていた頃ちょうど自宅が建築中で、よく大工を目にする機会があった。カンナで木材を削っている大工の姿が子供心にかっこよく見えたのが、「大工になりたい」とよく周囲に話していたらしい。その後は大きくなるにつれそんな気持ちはすっかり忘れていたのだが、高校卒業を前に進路をどうするか考えた際に大工になろうと思い、当時小杉にあった職業訓練学校に進むことにした。今にして思えば、幼い頃に抱いていた大工への憧れ、のようなものが心の根底に残っていて、それが大工を志すきっかけになったのではないかと思っている。

Q 職業訓練学校を卒業後は？

A 同じ職業訓練学校を卒業した先輩に声をかけられ、ある工務店に見習いとして入ることになった。当時はバブルの真っ最中で、自分の代から初任給が一気に上がった時代だった。しかし自分より下に大工が全くなかったため、下っ端としての立場が続くことに。同じ作業をずっと繰り返し続け、それができるようになったらようやく次の工程に進むことができた。初めて一軒まるまる任せてもらったのは、入って6年目ぐらいの26、27歳の時。ちょうど結婚



▲初めて親方から1軒まるまる任せられ建てた自宅



と新しく仕事を任せられるようになった。
Q 若い世代に向けて何かアドバイスはありますか？
A 最近の若い世代の方を見ると、30代頃まではメーカーの下請けをやっていたのが、40代になって仕事の質が変わってくるのが、仲間と協力しながら新しい仕事に取り組んでいる姿を見る。また周りの者に声をかけてどんどん仕事の幅を広げていつている者もいる。そういった意味でもやはりコミュニケーション能力は大事だと思う。また、一度は独り立ちして、一から自分でやってみるということも、自分自身を成長させる意味でも大切なことだと思う。

して自宅を自分で建てようかという時だった。重圧で夜も眠れない日もあったが、そこでようやく自分の仕事が認められ、この後は次々



クロswードパスル

- タテのキー
- ①赤、白、ロゼといえば？
 - ②○○○の上にも三年
 - ③豪華な宴を表わす、酒の字を含んだ四字熟語
 - ④不必要なことのたとえ、○○○に提灯
 - ⑤損して○○取れ
 - ⑥カクテルに入れるお酒ではもっともポピュラーで、フィズ、やトニックといえは？
 - ⑦ホワイハウスは日本語で○○○館
 - ⑧国有林などを管理する、○○○庁
 - ⑨アンコウはここが美味
 - ⑩○○○の道はヘビ
 - ⑪布団に入れてフカフカ
 - ⑫夫婦に別れること
 - ⑬酒に強い人を○○○利きといったり
 - ⑭犯人の色
 - ⑮ロシアの強いお酒
 - ⑯白酒といえは、桃の○○○
 - ⑰生、ジョップ、ジョッキといえは？
 - ⑱○○○に氷とウイスキーで、オン・ザ・ロック
 - ⑲お酒が飲めない人

- 三コノギー
- ①背広の下に着ます
②日本酒を造る職人
③空手道プロレスなどの○○格闘技戦
④力強い精神力
⑤職務を自らやめること
⑥沖縄特産の焼酎
⑦酒は○○○○○○の長
⑧○○多くして功少なし
⑨ガス○○、消火○○、コルゲ○○
⑩居間
⑪午後3時などの間食
⑫ずらり並べること
⑬「公家」の読みは？
⑭R&Bはリズム&ブー○○○○
⑮体長約4mで水中の生活にも適した草食

忘・新年会シーズン! みんなでカンパ〜イ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

驛和驛

[illegible]

- 先回の解答 ハンバーク
●当選者 厳正な抽選の結果、次の5名の方に決定しました。(敬称略)
中山 智恵(魚津) 本田真田(魚津) 野城 豊(奥羽)
松田 昇(高岡南) 佐伯 昇(福岡)
●応募方法 A～Eの文字を順番に並べてきた言葉(解答)と郵便番号・住所・支部
名・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、下記までお送りください。FAXでも受け付けま
す。正解者の中から抽選で5名様に1,000円分の図書券を呈星します。解答ご当選
者は匠226号で発表します。
●応募締切日 令和8年2月25日(水)消印有効
●送付先
- 〒939-8251 富山市西荒屋25-4 富山県建築組合連合会 クロスワードパズル係
FAX:076-428-8277

CCUS登録説明会が開催されました



12月18日(木)
の午前、午後の2回
県連会館2階会議
室で全建総連事業
推進室長の酒井仁
巳氏を講師に向か
え、CCUS登録説
明会が開催されま
した。

した。

説明会には会員と地協・支部事務員、県連職員が出席。力加し、CCUSの概要、インターネットによる登録方法、能力評価（レベル判定）の申請方法について説明を受けた。CCUSの登録は認定登録機関（富山県では日建学院）でもできますが、今回は申請者がインターネットにより自ら登録するための説明会としました。

政府が公表した「労務費に関する基準」のなかでも、建設業者は適正な賃金として、CCUSレベリングの支払年収の重要性が明瞭に示されています。CCUSの重要性が明確に示されているにもかかわらず、未登録の場合は早期の申請をお薦めします。

なお県連では引き続き、新規登録者に対する2,000円の助成を行いますので、詳しくは県連ホームページをご覧ください。

●物故会員名

(令和7年10月17日～12月11日)

支 部	氏 名	年 齡
入 善	川 口 興 司	52 歲
新 湊	土 屋 克 志	60 歲
立 山	深 川 誠	54 歲
氷 見	小 川 和 吉	71 歲
小 矢 部	本 領 久 雄	73 歲

心より、幸福をお祈り申し
上げます。

残念ながら継承する人はおらず、もう目にする事は無いでしょう。庵谷から加賀沢に掛けては加賀系と飛騨系の獅子舞が地域の特性を取り込み融合したようです。こちらも春祭りで披露されています。

どの地区でも春祭りで舞っていますが、最近では神社や公民館のみで披露されるだけの所がほとんどです。集落内では会社や新築や初老等の祝い事の有った個人宅を廻りますが、人手不足でそこまで出来る集落は限られてきました。

それなりに歴史の有る獅子舞
ですので、長く存続してほしい
ものです。見てみたいとなれば

春しか機会がないので難しいですね。こちらに来られるなら、冒頭に紹介した天湖森などどうでしょう。近年、全国各地のキャンプ場や自然公園で人気が出たグランピングがお勧めです。
(寄稿書／細人支部 竹井達也)

過疎化と高齢化が著しい細入地区ですが、道の駅林林や楽今日館・天湖森の行楽施設が大人気と言えないまでも、多少なりとも利用され賑わいを保っています。

高知県や石川県と並び『獅子舞県』と言われる富山県ですが、細入地区にも狭いながら八つの集落にそれぞれ獅子舞が有りました。南北に細長く続く集落は北から笹津、岩稲、檜原、庵谷、片掛、猪谷、蟹寺の七つと今は地名だけの加賀沢です。同じ細入でも大きく二つのタイプの獅子舞が伝わった様です。どれも奥西地方に多く見られる巨足獅子ではなく二人で舞うものです。小さい頃から目にしてしましたから巨足獅子を初めて見た時は少々違和感がありました。各地区共通しているのは獅子

の種類の金剛獅子・曲獅子・蛇獅子とあり、二人で獅子を演じるのは結構大変です。

二つのタイプの一つ目は、地域的に神通川沿いに伝わったとされる飛騨地方の獅子舞です。笹津、岩稲、檜原ではこのタイプが伝わったとされ、豊作祈願を主とし春祭りで披露されています。大正時代には立山町の宮路地区からの要望で檜原の獅子舞が伝えられたそうです。二十数年前、保存会となつた宮路地区の方から、形態も変わつてきたので改めて指導はしいと連絡が有りました。現在はどうなつているのか把握はしてませんが継続してくれていれば良いと思います。

二つ目のタイプは、地名にも含まれるように加賀沢の獅子舞かつて加賀百万石の文化に根ざした前田家ゆかりのものが伝わったと言われ、最も優美だったそうです。加賀獅子は百足獅



獅子舞

子が主ですが、加賀沢では地域の特性や衣装が取り入れられ独自に変化したところも有るようです。

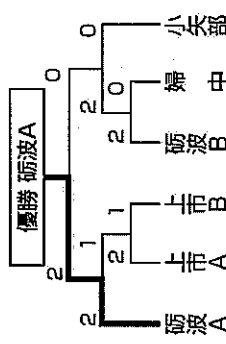


青年部協議会主催の第33回ビーチボール大会が10月26日（日）に東富山体育館開催されました。

6支部9チーム+青年部役員1チームの計10チームが参加し、予選リーグ、決勝リーグの計15試合を行い、砺波Aチームが優勝しました。

●成績

優勝 砺波A子—ム
2位 砺波B子—ム
3位 上市A子—ム
小矢部子—ム



※数字は取得セット数

